

日本版DMOの形成に向けて

人口減少・少子高齢化に直面する我が国の最重要課題である「地方創生」において、観光により地域を活性化させるためには、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役としての役割を果たす「日本版DMO」(Destination Management / Marketing Organization)を、今後、全国各地域において形成・確立し、これを核とした観光地域づくりが行われることが必要です。

しかし、その実践の場である地域では、DMOの理解は未だ緒についたばかりで、決して充分とはいえません。

今回のシンポジウムでは、日本版DMOを地域で形成していく実践段階を見据え、DMOに対する理解の醸成や一層の普及啓発を目的として、地域の観光振興やDMOに関する国内外の有識者による講演やパネルディスカッションを行うとともに、観光庁による日本版DMOの概要に関する説明を行います。

【プログラム】※敬称略

- 13:30 開会挨拶
- 13:40 国土交通省及びまち・ひと・しごと創生本部
「日本版DMOの概要」説明
- 13:50 内閣官房「地域経済分析システム (RESAS)」説明
- 14:00 「国内外の観光地域づくり体制調査」概要報告
DMO推進機構代表理事 大社 充
- 14:30 基調講演「ナパバレーにおけるDMOの役割とその成果」
Visit Napa Valley CEO Clay Gregory
- 15:30-15:45 (休憩 15分)
- 15:45 パネルディスカッション「日本版DMOの形成・普及に向けて」
内閣府大臣補佐官 伊藤 達也
(公社)日本観光振興協会 理事長 見並 陽一
(一社)雪国観光圏 代表理事 井口 智裕
Visit Napa Valley CEO Clay Gregory
DMO推進機構代表理事 大社 充
- 17:00 閉会



【海外有識者】
Visit Napa Valley CEO
Clay Gregory



【写真左から】

内閣府大臣補佐官 伊藤 達也
日本観光振興協会 見並 陽一
雪国観光圏 井口 智裕
DMO推進機構 大社 充

2016年2月8日(月)
13:30~17:00(開場13:00)
定員300名(先着順予約優先)
入場無料

大手町フィナンシャルシティ
カンファレンスセンター

【交通】東京メトロ丸ノ内線大手町駅A1出口直結
(3階カンファレンスセンター)

【アクセスマップ】

<http://www.dbj-r.jp/conferencecenter/access.html>

【主催】国土交通省 観光庁

【後援】内閣府
東京都

(公社)日本観光振興協会
㈱日本政策投資銀行

【お申し込み】<申込専用サイト>

<https://ez-entry.jp/dmo-symposium/entry/>

※シンポジウムの申込みは、専用サイトのみで受け付けます。

その他のお問い合わせに関しては下記事務局までご連絡をお願い致します。

【問い合わせ】

事務局 ㈱日本経済研究所(担当:原田、高橋、平島)

Tel. 03(6214)4646(土日祝日を除く、10時~16時)

Email: kanko-chousa@jeri.co.jp

◆登壇者・パネリストの略歴◆



Clay Gregory 氏 (Visit Napa Valley CEO)

25年以上にわたり、多様な産業におけるマーケティングとマネジメントの経験を有する。観光改善地区 (Tourism Improvement District) として、ナパバレーの観光産業振興を目的に設立された地域 DMO である Visit Napa Valley の CEO を務める。最近では、US トラベルや、カリフォルニア大学デービス校において、ワインと食に関するロバートモンダヴィ研究所の役員を担う。



伊藤 達也氏 (内閣府大臣補佐官)

1987年 米国カリフォルニア州立大学院客員研究員
1989年 松下政経塾卒塾 (5期生)
1993年 衆議院議員初当選 (以来7回当選)
2000年 通商産業政務次官
2002年 金融・経済財政政策担当副大臣
2004年 金融担当大臣
現在、内閣府大臣補佐官 衆議院地方創生特別委員会委員



見並 陽一氏 (公益社団法人日本観光振興協会理事長)

公益社団法人日本観光振興協会 理事長
大阪大学を卒業後、1974年 日本航空(株)入社。1992年 東日本旅客鉄道(株)入社。
東京地域本社旅行業部長、東北地域本社営業部長、取締役鉄道事業本部営業部長、取締役カード事業部長、取締役 I T 事業本部長などを経て、2006年常務取締役鉄道事業本部副本部長、2011年常務取締役観光振興 (全般) に就任。
地域と共に観光資源の掘り起こしや観光地づくり、集客に力を注ぎ、2012年6月より現職。



井口 智裕氏 (一般社団法人雪国観光圏代表理事)

1996年 米国イースタン・ワシントン大学卒業
1996年 (株)湯沢ビューホテルいせん入社
2005年 (株)いせん代表取締役
2013年 (一社) 雪国観光圏代表理事



大社 充 氏 (事業構想大学院大学客員教授/DMO 推進機構代表理事)

1987年 エルダーホステル協会創設に参画
2004年 現・NPO 法人グローバルキャンパスを設立、理事長
2009年 国土交通省「成長戦略会議」委員として観光立国に向けた成長戦略策定に取り組む
2009年~2011年 観光庁「観光地域づくり人材育成ガイドライン検討会議」「観光地域づくりプラットフォーム検討会議」委員、内閣府・行政刷新会議・規制制度改革「農林・地域活性化ワーキンググループ」委員 など
現在、DMO 推進機構代表理事、内閣官房「まち・ひと・しごと創生会議」有識者委員
【著書】『体験交流型ツーリズムの手法』『地域プラットフォームによる観光まちづくり』学芸出版